

## AGC 旭硝子のインフォバー、防災 ICT 機器「CANBOX」へ採用 — 7月6日～8日に開催されるライブ & イベント産業展に初出品 —

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）が開発したガラス一体型デジタルサイネージ「inforverre®（インフォバー）」が、災害時に防災基地として活用できる、トラッシュボックス型防災ICT 機器「CANBOX」へ採用されました。2016年7月6日から幕張メッセで開催されるライブ & イベント産業展に初出品されます。

CANBOX は、自動販売機の横にトラッシュボックスとして設置されます。平常時に於いては広告配信や地域情報の配信機器として活用され、災害時には防災情報の配信・避難経路図の配信に使用されます。

詳細はこちらをご参照ください。<http://ad.live-board.net/canbox/>



AGCグループは、経営方針 *AGC plus* の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」をプラスする製品づくりに取り組んでいます。今後もデジタルサイネージソリューションのパイオニアとして、お客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

※「inforverre®（インフォバー）」は AGC 旭硝子の登録商標です。

以上

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

（担当：鳥山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

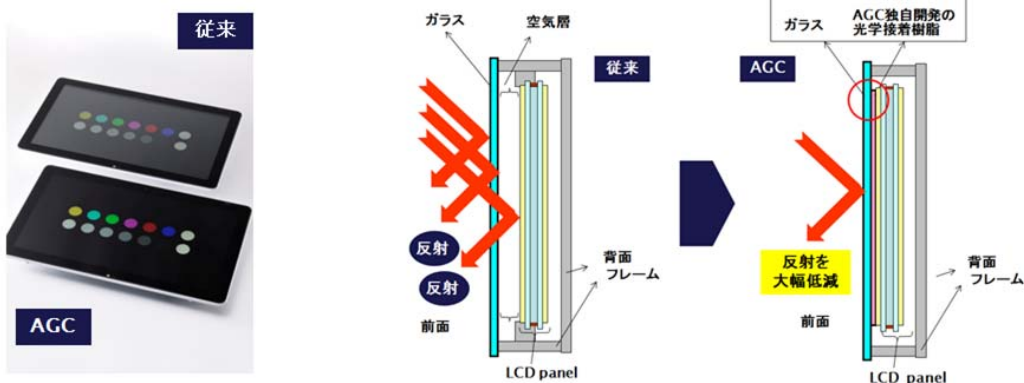
<ご参考>

■ inforverre® (インフォベール) シリーズとは？

(製品サイト : [http://www.agc.com/products/summary/1193732\\_832.html](http://www.agc.com/products/summary/1193732_832.html) )

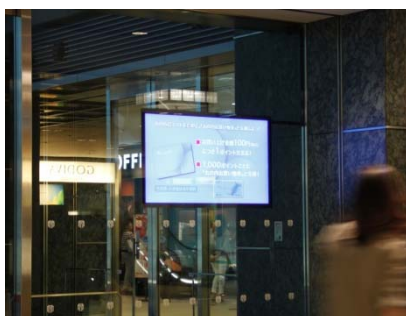
ガラスを情報発信の媒体とする「ガラスサイネージ」のひとつとして開発された inforverre®。 当社の化学品事業で培った光学接着技術により、ガラスに大型ディスプレイモニターを直接貼り付けた製品です。 空気層を省くことで視認性を高め、浮かび上がるようなクリアな映像を表示します。 また、ディスプレイをガラス接着面で支えているため省スペースが可能に、そして放熱ファンが不要のため低消費電力も実現します。

## AGC 独自の液晶直接貼合技術



■ inforverre® (インフォベール) シリーズの使用例

「inforverre® WINDOW」



「inforverre® TABLETOP」



「inforverre® MIRROR」



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

(担当：鳥山 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com))